長島　邦夫 議員

コロナウイルスワクチン接種計画、課題は

答 比企医師会との連携で、個別接種を中心に、補完的に集団接種を進める

学校再編は様々な観点から再検討願います!!

問 新型コロナウイルスワクチン接種の接種計画、関連機関との調整など、多くの課題があるものと推察する。進捗は。

答 健康いきいき課長　庁舎内で政策会議を開催し、準備に取り組んでいる。先ず医療機関での個別接種を中心に、補完的に集団接種を進める。予約方法等については比企医師会及び管内市町村と打ち合わせ、医療従事者に続き、高齢者接種を進めて行く。

小中一貫校の再検討について

問 出生率の低下、生徒数減少から学校再編計画が進み、統廃合も避けられない状況となっている。難しい部分が多くあるが当町は進めてきた計画を一旦立ち止まり見直すこととなった。そこに至った主な要因は。

答 町長　主な要因は議会の議決を得た条例に基づいた委員会としてスタートされなかったこと。保護者、町民への周知、理解が不十分な点。そして小中学校を対象とした学校編成は単に教育の枠を超え、町全体のまちづくりに影響を及ぼすものであり、今のタイミングで決断するに至った。ご指摘の地域コミュニティも大変重要な視点であり、要因の1つでもある。

他自治体からの転入状況について

問 都心の過密化、コロナウイルス感染、テレワーク等により、都心から郊外へ移住する方が増していると聞く。町の空き家状況の変化を伺う。

答 環境課長　空き家は増えてはいますが、令和2年度の対前年増加率は減少傾向である。東京一極集中化の緩和傾向、テレワークの定着等により変化が予想され、動向に注視して行きたい。

コロナ禍であっても都幾川堤サクラは元気に咲きました＝R3.3.29

松本　美子 議員

町の花「つつじ」町の木「梅」の記念植樹で活性化を

答 町民が再認識する必要もあり検討する

つつじ、梅の花が咲く町に

問 転入増、転出減に町のPRの取り組みは。町の花「つつじ」町の木「梅」を誕生の記念植樹に送るなどPRに利用しては。

答 企業支援課長　各種事業の情報発信以外にも、全国町村会主催「町イチ!村イチ!2019」や県主催「ふるさと暮らしセミナー」等でのブース出展等魅力発信イベントの参加に努めている。

答 町長　大切な事だと思う。町民に再認識が必要で検討する。

問 子育て世帯転入奨励事業の転入増は。

答 地域支援課長　平成26年より6年間実施で83世帯、269人。

問 平沢土地区画整理事業による企業、住宅の人口増は。

答 まちづくり整備課長　平成6年認可当時は476人、住宅150戸。令和2年2月1日現在1124人となり648人増加。また、新築は359件で、その内企業等は48件。

問 既存企業拡張による交付対象は。

答 企業支援課長　交付対象は3企業の4事業所。

緊急事態宣言延長で新たな取り組みを

問 小学校・中学校の新たな取り組みと対策は。

答 教育委員会事務局長　密にならない事、消毒や清掃の実施。給食時は黙食とし飛沫感染を抑える。トイレ、カーテン、机に光触媒加工やコーティングを施工、中学生の部活動を中止とした。

問 生活貧困者、生活保護世帯者支援は。

答 健康いきいき課長　家賃は住宅確保給付金制度や各種貸付金制度を案内している。生活保護世帯については、県福祉事務所が状況確認し、収入減少分は保護費として支給。

問 新型ワクチン接種の準備と周知は。

答 健康いきいき課長　関係各課の協力体制で準備、医療機関の個別接種を中心に集団接種を予定。順次接種券の配布をする。

町の花「つつじ」

町の木「梅」